



ベトサダ ニュース

NPO法人 自立支援事業所ベトサダ

〒065-0012 札幌市東区北12条東10丁目2-3
第5コーポ春1号室

TEL : 011-374-7361 / FAX : 011-374-7381
HP : <https://www.npo-bethesda.com>
MAIL : office@npo-bethesda.com

代表より

困窮者支援に取り組む若者 代表 菅原 勇也

活気が戻りつつイベントにおいても再開し賑わいを取り戻している中、観光客も増え街中の景色は以前の様子をとり戻してきていますね。街並みの景色も少しずつ変わり工事中の建物も増え新たに出来た建物も注目されずで訪れた方も多いのではないのでしょうか。そんな中皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。元気に過ごされていることを願うばかりです。さて今回は少し視点を変え困窮者支援に取り組む若者ということでお話をしたいと思います。

先日、当施設に大学生三名が見学に来ました。法学研究科の中で生活困窮に関する研究をしているとのこと。今回のような話を聞きたいと、はなから学生による施設見学は毎年依頼はあります。その都度実際に来てもらい施設を見てもらい話をしながら現状のことを伝えていきます。皆さん一律して生活困窮に興味があり支援する者と支援を受ける者、そしてそれらを取り巻く現状の問題や課題について熱心に研究している様子です。

当然そうした学問を専攻しているの興味がない方が来ることはありませんが、私には彼らと同じ年齢の頃はまったくこうだった世界に興味はありませんでしたし知りもしませんでした。情報を手に入れやすいかどうかの環境の著しい変化はここ二十年で大きく変わったにせよ学生の頃は正直不真面目だったので自分のことには興味はありませんでした。なので何も知らずただ興味本位で見学に来るのではなくしっかりと勉強して知識を身につけ、それらに肉付けをするために来られる学生を目の前にすると、いつもすごいなと感心させられてしまいます。

実際に若者の困窮に関しても問題になっており若者サポートを行っている団体も数多くあります。彼らは将来そういった困窮支援に関わる仕事をしたいと考えており直接相談支援員として関わる以外にも法律や条例を取り扱う職業に就いて困窮問題に取り組むたいという者も多いです。

すでに世の中には困窮に関する情報は膨大なデータとして出回っています。経験者が語る現状の課題や問題点、専門家による分析、研究結果など様々な方面の情報を手に入れ共有し自らに落とし込んでいきます。しかし社会は刻一刻と変化すること、困窮する者を取り巻く環境や支援する者の環境も変化しており書籍などで目にするものは数字で表されるものが多く一人一人に焦点があたるようなものはあまりありません。彼らはそうした困窮する者と支援する者のバックグラウンドを知りたいと尋ねてくるのです。自分たちが学んできたものを机上の知識のみで終わらせることがないように、自分たちの知識と実際の現状に間違いがないのか擦り合わせも兼ねて話を聞きに来て実際に話を聞いて驚いたり考えが変わったりといった学生も多いようです。私として今後の社会を担う彼らにたいなる期待を持っていきます。困窮は困窮してからの問題視するのではなくその前からいかに困窮することがない社会を作っていくのが重要であると思います。彼らはそうしたことから作っていく人達なので私が提供できるものは出し惜しみことなく伝えていければと考えています。彼らに良い刺激をもらいつつ私も考え取り組む姿勢は変えずに励んでいきたいと思っています。

スタッフより

ベトサダ新聞をご覧の皆様、新年おめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。

2024年になりました令和の年号も早いもので6年目になりました。全国的に暖冬のニュースが報じられていますが、西と東でその気温差が激しくなっているみたいです。これも温暖化と言われる影響でしょうか。2月になり札幌は雪まつの準備に忙しいようでありますが、大雪像を作成している方たちも雪像が解けないよう又は形が崩れないよう苦心しているみたいですね。感染症が流行っていた時は色々な規制があつて、全道的に冬のお祭り自体が自粛又は中止になったりして残念な季節になったりもしましたが、今年是非、各地の雪まつり等が盛況に行われ市民や観光客が楽しめるものになって欲しいですね。

今年元日に大きな災害がありました。年の初めを家族や友人達で祝い団欒していた最中の出来事でした。被災された方はもちろん犠牲になられた方も多く、一瞬にして幸せな時間や大切な人が失われた事を残念に思います。毎日各種の報道で各被災地の状況を目にしますが、全国から大勢の人が救済に入り色んな救助や生活支援活動をしています。中でも孤立している方たちへの救助や支援は道が寸断されインフラは破壊しそれは想像を超える事になっています。その事を毎日のようにテレビやネット放送で色々な方たちがコメントしたり意見を主張したりしています。その中には「この人な言っているの？」と思う人が多く「同じ国の日本人か？」とまで思わせるような発言をする人が一定数いる事に非常に残念に思ったりしています。過去を遡り思い起せば阪神大震災、東日本大震災、熊本地震や毎年のように起こる台風、豪雨災害等の経験を日本人はしてきたはずなのにそれを直接経験していない人が言いたいことを言い、24時間現地地救済にあたっている人や組織としてボランティアの方たちを非難するような発言は許されなと思います。これはベトサダの行っている活動にも非常に通じる事であり改めて考えさせられる出来事でありました。

【困っている人を救済する】これは人道的と言われる観点からごく自然の事でありそれを応援するならともかく非難に聞こえるような発言は絶対にあってはなりません。これを教訓に今一度助け合いとは何かを考え今年の活動に活かして行こうと考えています。

本年も当事業所にご理解とご協力を賜れますようお願い申し上げます。

ベトサダニュースをご覧の皆様、新年おめでとうございます。新年早々に地震災害、空港では航空機による事故など波乱の幕開けとなり被災された方々は正月を祝う幸せな時間をのんびりと過ごすことが出来ずに現在避難所での不自由な生活をされておられると思います。一刻も早く復興し今迄と同じ生活が送れるようにと切に願っている次第で被災地で亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

札幌では四年ぶりに3会場で雪まつりが開催され観光で訪れた方々が賑わいを見せていましたね。外国人観光客が増えて周りの量販店でも増収が見込まれたのではないのでしょうか？暖冬で雪像に影響が出るのではと聞いていましたが無事に終わることが出来て何よりでした。

今年例年より雪が少なく除雪が楽でこのまま雪が溶けて春が訪れるのではと思っていた矢先に大雪になりちよつと驚きましたがやはり温暖化の影響なのか雪溶けは早そうですね。本州方面の特に関東圏では大雪により物流の集荷、出荷がストップしコンビニなどでは店の陳列棚から食品が無くなる事態が発生して深刻な事態になっていました。高速道路などでは手作業による復旧作業などで対応していましたが大変な労力だったと思います。

さて話しは変わりましたがベトサダ利用者の事になります。就労による自立を目指して入所し自身で目標を掲げ就労収入により貯蓄をし無事に目標達成により退所出来た利用者や何名か担当しました。この方々のベトサダでの生活を目的の当たりして来ましたが仕事は休まず真面目に出勤してその部分での評価は高いのですが、その殆どの利用者は生活面において身の回りの整理整頓や清掃などがお座なりになり生活面においては主観ではありますが低い評価しか与えられない結果となってしまうこの先自分の住居ではどう生活するのが課題としてあげられます。

退所の日には新居まで送って行きながら折角自分の城を手に入れることが出来たのだから健康的な生活を送り綺麗に使って再び生活困窮に陥る事のないようにと締め括り別れるのですが彼らの心に響いて欲しいと思っています。



事務局より

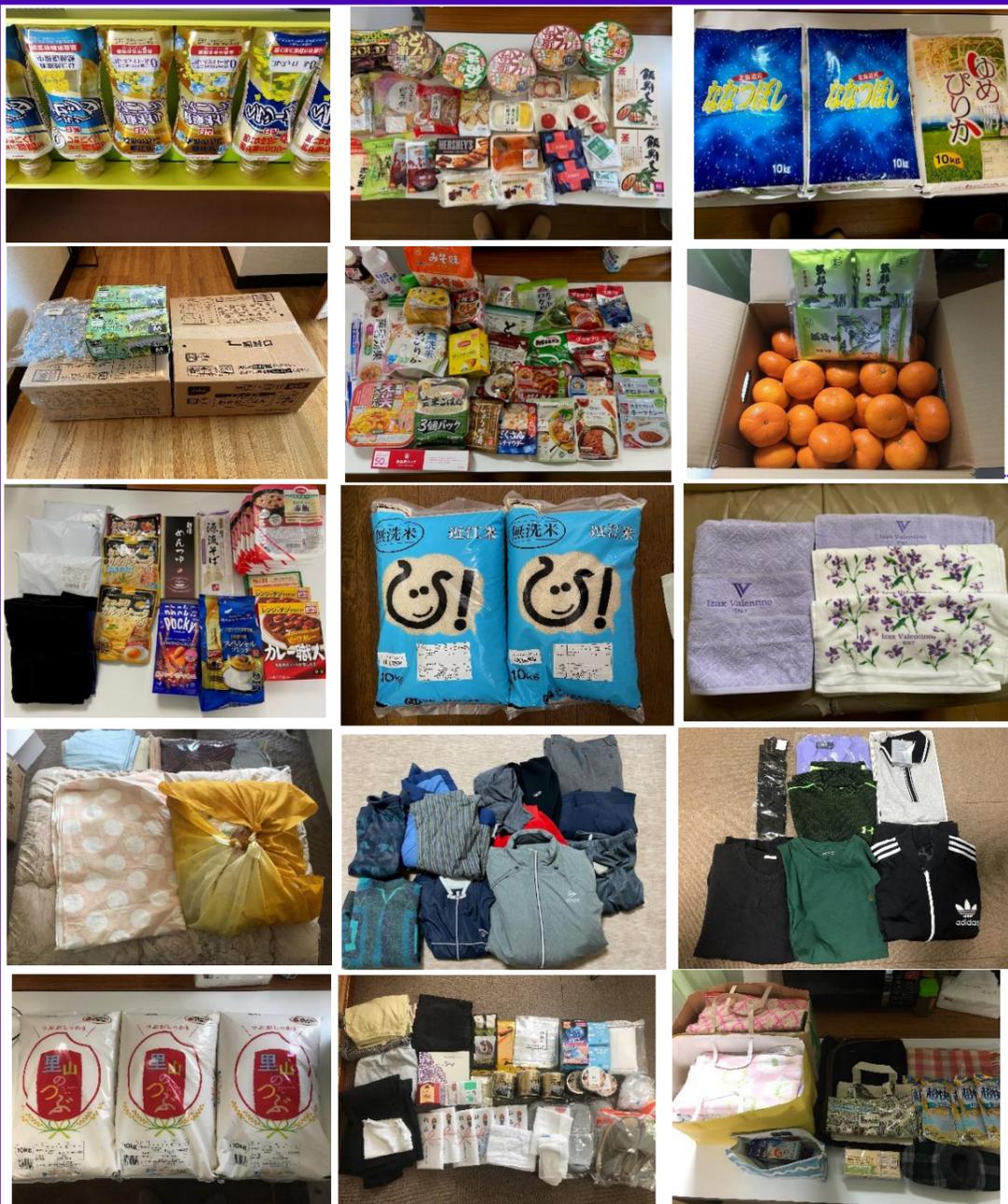
立春も過ぎ本格的に春に向かい始動してきます。旧年中は多大なご支援を頂きまして有難うございます。

例年より少ないと思われた雪も、1月中盤よりかなり雪も降り、平年並みの降雪量となりました。2月中旬には5年ぶりの二桁プラス温度になりました。しかし北海道はまだまだ寒い日が続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか？

年々利用者が減少傾向になっていきます。今年度も増えているのが入居時から生活保護希望の利用者です。コロナ収束後一時就労自立を目指す人が増えたのですがまた生活保護希望者が増えています。

毎年1月路上生活者の実調査が有ります。今年も1月28日午前2時から行いました。ベトサダからは代表の菅原が参加しました。「ジョインからは「ベトサダ」と「れおん」だけの参加でした。

真冬の夜中に全国で調査が行われますが、北海道をはじめ雪国での調査はどのようなのでしょうか。路上生活者を見つけた事は困難なのではないでしょうか。路上生活者を見つけた事ではとされています。車中泊の人も多数居らしたそうですが全ての人が家のない人とは考えにくいのですが、車の中にいっぱい荷物等積んで居る人も居らしたみたいです。統計上路上生活者数は減っていますが、実際はどうでしょうか？冬場は屋内に居る人が沢山いると思えます。どこに居るか分からないと思えます。目視出来る人数は減っているが、見えない化が進んでいて確認できない生活困窮者は多数いると思えます。夏場には調査を行う方がもっと実数に近い人を見かけるのではないのでしょうか。そして一見して困窮者とわかる人は長期にわたり路上生活をしている人だけです。



最近の困窮者は一見ただけでは分からないのが現状です。今年度の調査ではほぼ前年と同じ位の人数でした。多分3月に北海道新聞で調査結果の報告があると思います。今年度はテレビ取材が同行されていてベトサダの理事でもある山内氏がインタビューされていて山内氏は「労働と福祉を考える会」の代表です。(代表は次世代に交代したかもしれませぬ)

これからも変わらぬご支援ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

【藤原】



ありがとう
ございました

掲載しきれないほど、多くの方々より、衣類や食材のご寄贈を頂きました。クリスマスも支援者様サンタクロース様より頂いたチキンとを食べ、お正月にはうま煮を食べ、ベトサダ荘は笑顔に包まれました。心よりお礼申し上げます。

【寄附者様】〜順不同

【12月】

- 藍原様 旭川聖マルコ教会婦人部様 阿部様 安藤様 石黒様 五十嵐様 大島様 大西様 株式会社スタート佐々木様 菊地様 北村様 協同組合アジアネットワーク安達様 久保様 小林様 秀欧会福祉サービス株式会社對馬様 鈴木様 殉教者聖ゲオルギオのフランシスコ修道会様 聖ベネディクト女子修道院様 高橋税理士事務所様 武内様 中野様 日本キリスト教会札幌北一条教会様 古館様 山口様 カ)アールリンク様 長岐様 匿名希望54名

【1月】

- すばる法律事務所池田様 伊藤様 小野様 菊地様 協同組合アジアネットワーク安達様 久保様 秀欧会福祉サービス株式会社對馬様 清水様 島牧で楽しむ会杉山様 札幌聖ミカエル教会内日本聖公会北海道教区婦人会様 馬場様 本間様 カ)アールリンク様 匿名希望18名

更に、12月は14名、1月も5名の方々よりご寄贈を頂きました。心よりお礼申し上げます。

「ご寄附の際に、掲載「可」又は「匿名希望」のいずれかを〇で囲んで頂けると助かります。尚、記載の無い方は匿名とさせて頂いておりますが、掲載可



みなさまから託していただいたご寄附は、自立を目指す方々を支援するため、ベトサダの活動・運営のために使わせて頂きます

◆ ご寄附 送金先 ◆

【ゆうちょ銀行】

口座番号 02720-1-45798

口座名義 特定非営利活動法人

自立支援事業所 ベトサダ

【カード決済】

◆ホームページ→寄附・募金の受付→

寄附・募金サイト→寄附をする→カード決済

みなさまの 会費・寄附は自立を目指す若者の生きる希望となります